

梅毒の血液検査を受けた患者さんへ 研究協力のお願について

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の相談窓口へお問い合わせ下さい。ご連絡がない場合においては、ご了承をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

なお、この研究は、倫理審査委員会の審査を受け、研究責任者の所属機関の長の承認を得て行っているものです。

1. 研究の対象

2000 年 1 月以降に梅毒の血液検査を受けられた方

2. 研究の概要

研究課題名	当院における <i>Treponema pallidum</i> 抗体陽性者の現状
研究期間	承認日 ～ 2030 年 3 月 31 日
目標数	10000 例

梅毒は *Treponema pallidum* (TP) による感染症です。梅毒の診断では、TP の抗体検査が有用です。近年、梅毒の新規患者は増加しています。また、梅毒に関する報告は、症例報告が多く、一医療機関における状況に関する報告は少ないのが現状です。そこで、当院においても梅毒と診断された患者さんが増加しているのか調査します。また、当院における梅毒患者さんの症状や病期、臨床背景の特徴を調査します。

3. 研究の目的・方法について

この研究では、大学病院である当院の TP 抗体陽性者の状況について検討することを目的とします。血液検査の結果と診療録を用いて必要なデータをとりまとめ、当院における梅毒患者さんの増減および臨床的特徴を検討します。

4. 研究に用いる試料・情報の種類

診療の際に得た情報を使用します。

試料 該当なし

情報 血液検査データ、年齢、性別、検査目的、病歴、治療の有無、治療内容

5. 外部への試料・情報の提供・公表

提供された情報は、外部へ提供することはありません。

6. プライバシーの保護について

研究で得られた結果は学会や医学雑誌等に発表されることがあります。このような場合、あなたの個人情報などのプライバシーに関するものが公表されることは一切ありません。

7. 研究組織

- (1) 金沢大学における研究実施体制
研究責任者 附属病院検査部 坂井優喜子

8. 本研究に係る資金ならびに利益相反について

この研究は大学の運営費を用いて行われます。また、この研究の研究担当者は、この研究において企業等との間に利害関係はありません。この研究の研究担当者は、金沢大学の規定に基づく利益相反審査機関へ自己申告し、その審査と承認を得ています。従って、この研究の研究担当者は、この研究の実施の際に個人的な利益のために専門的な判断を曲げるようなことは一切いたしません。

9. 研究への不参加の自由について

情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には、研究対象としませんので、下記の問い合わせ先までお申出ください。なお、研究結果が既に医学雑誌への掲載や学会発表がなされている場合、データを取り消すことは困難な場合もあります。

10. 研究に関する窓口

この研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

研究責任者 金沢大学附属病院 検査部 坂井優喜子

相談窓口担当者 金沢大学附属病院 検査部 臨床検査技師長 大江宏康

住所 〒920-8641 金沢市宝町 13 番 1 号

電話 076-265-2007